

入試分析 社会

【出題形式】

- 問1：世界地理
- 問2：日本地理
- 問3：歴史（古代～近世）
- 問4：歴史（近現代）
- 問5：公民（経済分野）
- 問6：公民（政治分野）
- 問7：地歴公の融合問題

正誤問題・資料の読み取りがやや難化。

出題形式と設問数は昨年度と変わらない。大問7題で設問数34個。選択肢8つの問題が3問から7問へ4問増加。しかし、基本的な知識で一気に絞れるので大勢に影響は無いだろう。それよりも各大間に必ず出題されている「正誤問題」が得点への鍵となる。基本的な知識で解ける問題も存在はするが、資料とのリンクもあり、解くのに時間がかかり、時間配分への影響も考えられる。また「資料の読み取り問題」もベースとなる基礎知識が必要であり、かつ引き続き読解力を要する問題となっている。

入試問題にチャレンジ！（地理&歴史）

問1（ア）ヨーロッパの自然環境について説明した次の文中のあ、いにあてはまる語句の組み合わせとして最も適するものを、あと1～4から一つ選び、その番号を答えなさい。

ローマ周辺はあ性気候であり、夏に乾燥するという気候の性質を利用して、生産しやすいいを使用した料理などがある。

- 1. あ：地中海 い：バナナ 2. あ：地中海 い：オリーブ
- 3. あ：西岸海洋 い：バナナ 4. あ：西岸海洋 い：オリーブ

問3（イ）古代から近世における人の移動に関する次のできごとI～IIIを年代の古い順に並べたものとして最も適するものを、あと1～6から一つ選び、その番号を答えなさい。

- I 江戸時代の將軍や琉球王国の代が替わるごとに、琉球王国は使節を江戸に派遣した。
- II 倭国の軍が唐・新羅の連合軍に大敗したあと、九州地方には防備のために兵が派遣された。
- III 城下町の経済的発展をはかるために、特権的な座や、移動の妨げとなっていた関所が廃止された。

- 1. I → II → III 2. I → III → II 3. II → I → III
- 4. II → III → I 5. III → I → II 6. III → II → I

解答：問1（ア）2 問3（イ）4

«入試に向けて»

①WeeklyTestと教科書で基本的な知識や用語の暗記を行う。

4月～10月までに地理・歴史の基礎知識を仕上げる。

②歴史は年号ごろ合わせも使って、暗記を行う。

できごとや文化を見て、時代や順番が言えるように復習する。

③資料やグラフの読み取りに慣れる。縮尺の計算、割合や%から数量も計算できるようにする。

読解力と計算力をつける！

④キーワードからどの知識が問われているかを推測する。

模試・テスト&ゼミ・入試過去問を解いて、知識をアウトプットする訓練をする。忘れていた知識を見つけて補強する。



Heart&Hard

北進ゼミナール